

2019年12月9日

あおぞら投信株式会社

「親たテレビ 巨人の星か サインはV

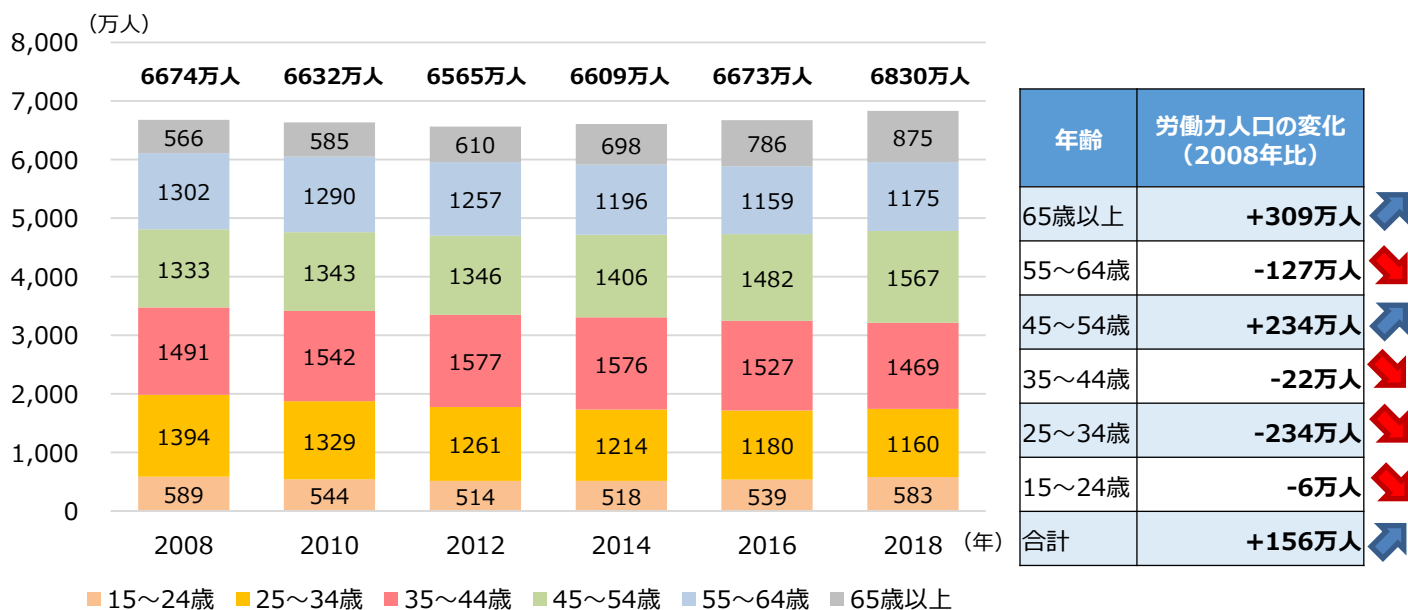
何のことやら 若者ググるか」

会社で仕事をする時に、必ず課題となるのが世代間のギャップでしょう。年齢が10年違えば話題も異なり、そこには価値観の相違が生まれることもあります。そして今や新たなZ世代(1995年から2010年生まれ)が活躍する時代となっており、X世代(1965年から1980年生まれ)、Y世代(1981年から1995年生まれ)とは異なる価値観をもっていると言われていています。Z世代とはどのような世代なのでしょうか。

まずはデジタルネイティブと言われる通り、インターネットサービス(ネット)に囲まれている世代であることです。例えば将棋の藤井七段は2002年生まれのZ世代です。2016年に14歳でプロ入りしましたが、彼の強さはこれまでの師匠から習う時代とは異なり、ネットでのコンピューターとの手合わせが、彼の特徴を作りあげたと言えると思います。ネットがなかった時代とは異なる“常識”を持つ、彼のような人も出てきているのです。ということは職場の中には、普通に“常識”の異なる人がいることが前提になります。もしもここを勘違いして、異論と持論との摩擦の場であることを知らないと、異なる発想の人がいることを受け入れられないということが起こります。そして現にそのような人が増えている可能性があります。気の合う仲間とだけの連携に頼ってしまう人間関係に慣れすぎているので、当然のことながら異論を発する上司(部下)のことも受け入れられないという、当たり前が理解されないようなことが起こっているのが現状ではないでしょうか。もちろん職場においては日々の仕事が積みあがっていることで、上司も部下も余裕がないことも多々あり、そんなときこそ何を目標しているのかの心持ちを確認することが必要なのだと思います。すなわち今だけではなく、その先のための仕事とは何なのかということとを共有することが大切なのです。“常識”の違いも含めて異なる世代が働く場が価値を生めるか、といった日々の挑戦が続くのです。

柳谷俊郎

日本の年齢階級別労働力人口の推移 (2008年～2018年)



出所：財務省統計局「労働力調査」を基にあおぞら投信が作成。

本資料は情報の提供を目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、本資料作成日現在の当社の見解であり、事前の予告なしに変更される事もあります。投資信託の取得に当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。

商号：あおぞら投信株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第2771号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会 ホームページ・アドレス：<http://www.aozora-im.co.jp/>